

## シグマ委員会幹事会議事録

日時 昭和42年10月28日 10.00~18.00

場所 原研本部第2会議室

出席者 百田, 中島, 飯島, 坂田, 五十嵐

議事;

### I 状況報告

前回幹事会以後の状況について関係者より報告があった。

#### (1) Schwarz との話

CCDN の副所長 Schwarz 氏が9月の核構造国際会議の折に来日, 原研にも来所してCCDN に関する情報の交換を行なった。

○ CINDA entry の重複を避けるため目下整理を行なっている。

#### (2) EACRP 関係

10月16日~20日まで東京で開かれ, observerとして主査が出席。

○ Fast Reactor Physics が今回の会合の主要議題で differential data を integral experiment で改良することについて UK, KFKから報告があった。

#### (3) ENDF/B

全体の1/2位をCCDN から送って来た。(但し, C data の内容に間違いがあるので訂正が来る予定)

#### (4) JNDC ニュース#6

10月末原稿〆切。11月初旬刊行予定。

#### (5) Separated isotope

日本からの request はすべて category II と EANDCによって判定された。(有料借用)

EANDC の判定が出たことによって借用交渉が促進されるだろう。

(ア) Carbon cross section の evaluation

- Newson, Seth らの測定者と話し合った。
- Block から new data があると言う知らせがあった。
- Harwell の data については再測定をやっているので近く知らせがある筈。

(イ) 熱中性子の国際会議

- 出席については固体物理で検討中であるが、シグマとしても他の国際会議も含めて積極的に出席出来るようにして欲しい。

(ウ) USA の BNL に National Neutron Cross Section Center が本年 9 月 15 日開設された。S. Pearlstein が acting director.

## II 研究会

昨年も行なった高速中性子断面積研究会のような研究会を行なうことについて近日拡大幹事会を開いて討論することになった。

## III データセンターに関するその後の経過と今後の運営方針

- 来年度から原研内にデータセンターが開設されることになった。
- その運営方法について次回運営委員会で討論することになった。
- 運営委員会の討議のために資料を用意する。

## IV 42年度実行予算使用状況の報告と物品購入の検討

現状では計算費振替えを必要とする。必要分を出来るだけ早く出す。

## V データリクエスト関係

リクエストは user 以外からも出てしかるべきものである。集り工合によって list の改訂を行なうかどうか考える。

## VI 人事関係

炉定数グループ ; 小松→水田 ( NAIG )  
永山 ( 原電 ) , 齊藤 ( 原研 ) 追加

桂木→坂田は ?

VI Neutron Cross Section Technology Conference, その他

- 出席の可能性が残っているので論文提出をはかりたい。  
候補 (n-2n) cross section の収集, COMFORD。
- 来年5月の IAEA の Inelastic Scattering のシンポジウム(コペンハーゲン)にも当委員会から出席者を送りたいとの提案があった。

VII その他

- 関西炉物理関係者がシグマに参加してもらうことを考えてはどうか。
- 名古屋大学, 東工大(核物実験)からシグマに参加してもらうことを考えてはどうか。(この2件は年度末運営委員会への宿題)
- Numerical data(ENDF, SCISRS 等)の distribution について規定を検討しなくてはならない。
- プロGRESSレポート作成にとりかかること。